

平成28年12月19日

北栄町議会

議長 井上 信一郎 様

北栄町議会産業建設常任委員会

委員長 森本 真理子

産業建設常任委員会調査報告書

本委員会は、次の事件について先進地の調査を終了したので、会議規則第77条の規定により調査結果を次のとおり報告します。

記

1 調査事件

(1) 最新技術を導入した施設園芸と生産管理

調査地 兵庫県加西市 株式会社兵庫ネクストファーム
高知県南国市 株式会社西島園芸団地

(2) 公立美術館の運営と美術館を生かしたまちづくり

調査地 高知県香美市 香美市立やなせたかし記念館

2 調査期間

平成28年11月15日(火)・16日(水)の2日間

3 調査結果

(1) 株式会社兵庫ネクストファーム

平成26年10月設立。国・県の補助を受け、兵庫みどり公社が施設を整備・保有し、株式会社兵庫ネクストファームに貸し付けている。次世代施設園芸モデル団地でオランダ式連棟型温室である。

ミニトマト1.8ヘクタール、大玉トマト1.8ヘクタールが栽培されている。温度・湿度・光・二酸化炭素などの栽培環境を最適に制御する統合環境技術の導入により、今まで頼っていた「人間の勘」でなく「データ」で取り込み数値化し、次世代へ伝えることが可能になった。

人間の作業より細かい管理が可能になり、市場の需要に対応した周年・安定・高収量・4定(定時・定量・定質・定価格)が実現でき、流通業者等との契約出荷体制が確立できている。

(2) 株式会社西島園芸団地

昭和46年7月設立。総面積6ヘクタール、ハウス面積4ヘクタール、メロン・スイカ・イチゴ・トマト・マンゴーなど1年を通じ栽培、観光農園として賑わう。園内にはカフェが併設されているほか、加工品等も販売し、平成27年入園者数13万人。減農薬など徹底した生産管理を実施している。

平成27年10月には次世代型園芸施設ハウスが完成し、コンピューター制御により、最適なハウス環境を自動で実現している。

バイオマスボイラーを導入し、ヒノキやスギの間伐材を燃料として、ハウスの暖房としている。

(3) 香美市立やなせたかし記念館

平成8年7月開館。今年が開館20周年。公益財団法人やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団が、香美市と1年ごとに管理委託契約を締結し運営している。

鉄筋コンクリートの「アンパンマンミュージアム」と木造平屋の「詩とメルヘンの絵本館」、その奥に「やなせたかし記念公園」があり、芝生広場も広々とした敷地の中にアンパンマンのキャラクターたちの像がたくさん配置されている。ミュージアムの隣にはホテルも建設されていた。

ピーク時、年間20万人あった入場者が昨年は14万人だった。

今年は開館20周年にあたり、記念切手の発行や市内の3歳から15歳の子どもの年間6回まで入場できるフリーパス券が発行されていた。

4 所感

ふたつの農業施設とも社員が意欲を持って仕事をしてきた。その社員たちが、新たな担い手として、栽培技術の習得や経営感覚を身につけ、独立し地域農業の中心になっていく。

本町のドリーム農場でも栽培環境の自動制御装置により、データ化が可能になり、品質向上や経営感覚を身につけることができ、将来に期待できる。バイオマスエネルギーの導入は再検討が必要と考える。

やなせたかし記念館は今の子どもと、以前子どもだった親たちが、世代を超えて感動できる施設であった。青山剛昌ふるさと館もファンに十分満足してもらい、リピーターとして来館していただけるように努力しなければいけない。

入館者増につながるよう町内の子どもたちに年間フリーパス券の発行や、記念切手の発行など参考にしたい。出会いの広場に来春完成予定の『(仮称)「コナンの里」の集合店舗』にも期待したい。